

# 学校改善につながる学校評価の取組

札幌市立北野台中学校

## I はじめに

学校改善、開かれた  
学校づくりにつな  
がる学校評価

### 1 本校における学校評価のねらい

本校の今年度の学校経営目標は「共に自立し、貢献し合う姿が見える学校」であり、その中で学校評価は、信頼される学校づくりのために、開かれた学校づくりを推進する一環として行われている。学校が信頼されるためには、教職員、保護者、生徒、地域住民が、学校で行われている教育活動の現状と課題について共通認識をもち、同一歩調で教育活動を進めていかなくてはならない。

そのために、学校評価アンケートにおいては、できるだけ同じ質問内容を用い、教職員の回答と、その他の回答との相違に着目しながら学校評価を行っている。

### 2 昨年度の学校評価の結果を基にした改善点

昨年度の学校評価の結果を、学校関係者評価委員に検証していただいた。それを受けて、アンケートの信頼性を増すために、今年度は以下に示す内容について改善を図った。

その内容とは、生徒の捉え方を教師に問うている質問は、教師の姿勢を直接問うて、問題意識を引き出す質問にした方が改善に繋がる結果が得られるということである。これをもとに、例えば「生徒は、教え方を工夫している教師が多いと感じている。」という項目から「自分の教え方で改善すべき余地があると思うか。」に改めるなど、数項目の質問を改善した。

## II 本校の学校評価システム

教務部主体の学校評  
価システム

### 自己評価の充実を図る組織体制

本校では、昨年度までは学校評価のすべてにかかわる業務を管理職が行ってきた。その方式には、学校評価と校長が示す学校教育目標を容易にリンクさせることができるといった長所があった。その反面、学校評価に対する教職員の意識は希薄であったため、評価システムを全面的に変更することとした。

今年度は学校評価の業務が教務部に移り、教務部員によって質問事項の検討、アンケートの集約、分析を行うこととなった。これにより学校評価に対して職員間に協働意識が強まり、そのことで、自己評価の結果を、日常の教育活動に直接フィードバックさせることが容易になると考えている。

### Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自 己 評 価			学校関係者評価
	学 校 (教職員)	生徒	保護者	学校関係者評価委員会
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営の重点目標設定</li> <li>・各校務組織の計画案作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会組織決定</li> <li>・授業参観</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標達成のための評価項目づくり</li> </ul>			
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年PTA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、設備の視察</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期反省</li> </ul>		
8				
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目の決定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加 (学校祭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加 (学校祭)</li> </ul>
10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観</li> <li>・学年PTA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート完成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加 (合唱コンクール)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加 (合唱コンクール)</li> <li>・学校関係者評価委員会</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価アンケート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期反省</li> <li>・アンケート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート実施</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート集約</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート分析</li> <li>・アンケート結果のまとめ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価委員会 (自己評価の結果の検討)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果の公表</li> <li>・市教委報告とHP公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年PTA</li> </ul>	

## IV 学校評価の方法

### 評価項目の精選

### 1 自己評価

#### (1) 項目の設定

本校の学校評価アンケートは、本校の教育活動や学校運営に関する中期・単年度の目標に対して、客観的なデータを基に目標の達成状況を検証し、改善方策を検討する自己評価の資料とするために実施しているものである。

教育課程・学習指導、生徒指導、進路指導、安全管理、保健管理、組織運営、保護者・地域住民との連携、施設設備等の項目について、6年間継続して教職員・生徒・保護者を対象に実施している。

#### (2) 具体的な項目

具体的には、教育目標、各教科指導、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、生徒指導、進路指導、部活動、学校経営、校務組織、施設設備、教材教具、研修、文書管理、家庭地域の各分野について、数問ずつの質問を設定している。さらに最後には、自由記述の欄も設けてある。

#### (3) 生徒・保護者アンケート

生徒・保護者向けには、33の項目からなるアンケートを12月に実施した。これは教職員向けのアンケートをベースに作られたもので、教育方針、学習指導、評価評定の妥当性、道徳、特別活動、総合的な学習の、生徒指導、進路指導、個人情報保護、学校施設の充実、生徒の様子、部活動、危機管理、開かれた学校づくりについての項目がある。また、広く意見を募るという意味合いから、自由記述の欄を設けている。

### 2 より学校改善につなげるための改善点

### 学校改善につなげるための改善

#### (1) 項目改善の必要性

学校評価を報告のためだけのもの、つまり「評価のための評価」とせず、今後の改善につながる実効性ある取組とするためには、常に重点目標と質問事項の整合性を追求し、また教職員と生徒・保護者の回答の相違を検証していく作業を継続的に行っていくことが必要である。

#### (2) 具体的な改善点

上記のことをふまえ、各質問項目を以下のように改善した。

##### ① 生徒用

保護者用質問紙と揃えるために、数問の文言を整理した。また、生徒一人一人によりよい学校づくりの意識をもたせるために、保護者や地域の方々の来校についての設問も加えた。

##### ② 保護者用

大部分の主語を統一化し、分かりやすい表現に変えた。また、保護者の学校への協力姿勢を促すことを目的に、学校行事への参加状況やPTA活動への協力の在り方についての設問を加えた。

##### ③ 教職員用（内部評価）

教員のねがいと、それを受け止める側の生徒や保護者との意識の相違を比較検討することを目的に、生徒質問紙・保護者質問紙と同じ質問項目を2つ増やした。

また、前年度、教員の肯定的な回答が100%であったが、生徒と保護者の肯定的な回答が50～70%という結果に対しては、個々の取組状況が分かるような設問項目を加えた。

実りある学校関係者  
評価委員会

### 3 学校関係者評価

自己評価の客観性、透明性を高めるために、自己評価の結果を分析したものを、学校評価委員会の方々に毎年検討してもらっている。

#### (1) 学校関係者評価委員の構成

本校では、学校評議員に加え、前PTA会長、PTA副会長、前区P連事務局長の方々にお願いしている。

#### (2) 学校関係者評価をスムーズに進めるために

学校関係者評価委員の方々は、必ずしも学校教育に精通しているわけではない。そのため、可能な限り委員の人たちには、授業や学校行事の参観、施設・設備の視察、学校長や教職員との対話の機会を設け、学校運営の現状を把握してもらっている。一方で、評価委員会を実りあるものにするために、委員の一人一人に本校の重点目標や学校評価への取組状況について、分かりやすく説明するよう努めている。また、学校関係者評価委員会の開催に当たり、事前に集約結果などの資料を送付し、問題点の検討をお願いしている。

#### (3) 学校関係者評価委員会の実際

学校評価アンケートの集約、分析に基づき、自校の取組についての自己評価書を作成する。その後、学校関係者評価委員の方々には、それぞれのアンケート結果や三者（生徒・保護者・教職員）に共通する回答の結果、さらに本校で独自に実施している「いじめ調査アンケートの集計と分析」を送付している。

学校関係者評価委員会においては、最初に各資料についての説明を行なったのち、自己評価の結果の内容や学校運営の改善に向けた取組の適切さについて評価を受けている。

## V 評価結果の公表

多様化と工夫

### 1 公表の方法

学校評価結果の公表については、一部の者に知らせるのではなく、広く保護者等に知らせる必要があるため、本校では以下の方法をとっている。

- (1) 学校だよりへの掲載
- (2) 学校ホームページへの掲載

### 2 公表の内容

生徒・保護者アンケートの結果を円グラフ化して示したり、個々の評価項目に対する考察や改善策などを示したりしている。

これらをもとに作成した自己評価及び学校関係者評価書を公開するとともに、結果を踏まえた今後の改善方策等について公表している。

## VI 成果と課題

本校では、平成16年より学校評価に取り組み6年が経過したが、これまでは、管理職がアンケートの集計や考察、自己評価書の作成や学校関係者委員会の開催など一切を担ってきた。しかし、今年度からはこれを教務部の業務に位置付け、校務部会等で検討することにより、全教職員が学校評価に参加するという体制づくりのための一歩を踏み出すことができた。

今後は、自己評価及び学校関係者評価から浮き彫りになった課題に対し、教職員の意識の向上を図るとともに、具体的な解決策を学校長の示す学校経営方針にどのように反映させていくかということが課題である。

北野台中学校内部評価アンケート  
氏名( )

## ☆記入にあたって

この調査は、学校教育活動が生徒の実態や保護者・地域住民の学校教育に対するニーズ等に対応し効果的な教育活動が実施できているかどうかについて、学校自らが、教育計画の達成度を点検し、教育改善のための方策を明らかにするために行うものです。回答の方法は、それぞれの設問の内容が、よくあてはまる場合はA、ややあてはまる場合はB、あまりあてはまらない場合はC、全くあてはまらない場合はDを、それぞれの診断の欄に記入してください。

	番号	調査項目	評価
教育目標	1	本校の教育課程について、教職員でよく話し合っている。	
	2	各学年の教育計画の作成に当たって、教職員でよく話し合っている。	
	3	本校の教師集団は生徒としっかりと向き合い、信頼されている。	
	4	教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。	
	5	教育活動全般にわたって評価を行い、次年度の計画に生かされている。	
	6	本校は、教育活動の全般について、生徒や保護者に分かりやすく知らせている。	
各教科	7	年間の学習指導計画について、各教科で毎年更新している。	
	8	教科として、学習方法や家庭学習について指導している。	
	9	教科として、基礎・基本を明確にし教材の精選・工夫を行い授業改善を繰り返している。	
	10	問題解決的な学習や体験型の学習を行うなど、指導方法の工夫改善に努めている。	
	11	昨年の評価結果を踏まえて、授業改善に努めている。	
	12	教え方の工夫に更なる改善の余地があると思う。	
	13	到達度の低い生徒に対する学習指導を工夫して取り組んでいる。	
	14	学習意欲を高めるために、個に応じた視点で工夫して授業を行っている。	
	15	ティームティーチングの導入などきめ細かな指導の工夫・改善に努めている。	
	16	個人選択の趣旨に基づく選択教科を設定し実施している。	
道徳	17	学習活動の中で、評価規準に沿って生徒の意欲化につながるよう評価活動をしている。	
	18	観点別評価など評価の在り方について、学年や教科などで理解が深まっている。	
	19	生徒の努力や達成度を適切に評価しようと努めている。	
	20	学校全体として、道徳教育の目標達成のため、道徳教育と各教科での指導の関連や年間指導計画に基づき道徳の時間を要として道徳教育を継続的に行っている。	
	21	授業や活動の中で、生徒に生き方や思いやりに関して考えさせている。	
	22	本校の生徒には「生命を大切に作る心」が育っている。	
	23	本校の生徒には「社会のルールを守る態度」が育っている。	
	24	学校の教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	
特別活動	25	本校の生徒はTPOに応じて適切な行動や活動ができる。	
	26	生徒の努力や達成度を適切に評価しようと努めている。	
	27	学級活動で、生徒が自分の意見を発表する機会が多い。	
	28	学校行事や生徒会行事に生徒たちは、積極的に取り組んでいる。	
	29	生徒会活動において、生徒が主体的に活動している。	
総合学習	30	本校の総合的な学習の時間はねらいや学習内容から生徒が興味をもって取り組めるようになっている。	
	31	生徒が興味を持って総合的な学習の時間に取り組めるよう工夫している。	
	32	環境・キャリア教育など新しい教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	
生徒指導	33	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	
	34	校内暴力などの問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	
	35	いじめなどの問題行動の防止のための早期発見・指導に学校全体で取り組んでいる。	
	36	昨年の評価結果を踏まえて、生徒指導に努めている。	
進路指導	37	教育相談では、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	
	38	生徒の悩みや相談に親身になって応じようとしている。	
	39	生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。	
	40	生徒指導において、関連諸機関との緊密な連携ができています。	
	41	現在の生徒たちの生活は落ち着いて、人間関係も円滑である。	
部活動	42	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。	
	43	生徒の将来の進路や生き方について考えさせる機会を積極的に与えようとしている。	
	44	生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	
部活	45	学校として、部活動の活性化に努力している。	
	46	部活動は、生徒により積極的に行われている。	

	番号	調査内容	診断
経営・組織	47	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	
	48	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	
	49	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	
	50	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	
	51	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	
	52	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	
	53	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。	
	54	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	
	55	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。	
施設設備	56	教職員として服務規律への自覚が高い。	
	57	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう役割が明確化されている。	
	58	生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある環境が整備されている。	
	59	校舎内の清掃がいきとどいている。	
教材教具	60	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立ち計画されている。	
	61	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	
	62	各教科の備品や教材教具が十分に活用されている。	
研修	63	コンピュータ等の情報機器が、各教科の授業などで十分活用されている。	
	64	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	
	65	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	
	66	学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある。	
	67	教員の間で授業方法等について検討する機会を積極的にもっている。	
	68	道・市教育委員会や教育研究所等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	
文書管理	69	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	
	70	公文書の收受、発送、保管に対する管理が十分になされている。	
	71	学校から保護者等にあて公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが適切に生かされている。	
	72	指導要録等の記入・点検が年度内に適正に行われている。	
家庭地域	73	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	
	74	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、生徒・保護者への周知に努めている。	
	75	保護者や地域の人々に来校していただく機会を多く持っている。	
ご意見	76	教職員はPTA活動によく参加している。	
	77	生徒たちは地域の行事に積極的に参加し、教育的成果を得ている。	
	78	学校教育をよりよくするために、こうすれば良いという意見がありましたらお書きください。	